

ギガ GIGAスクール構想の取り組み

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

文部科学省が推進する、「GIGAスクール構想」をご存じですか？

GIGAスクール構想のGIGAは、Global and Innovation Gateway for Allの頭文字を取った言葉で、直訳すると「全ての人にグローバルで革新的な入口を」となります。児童生徒1人1台のコンピューターと、学校内の高速ネットワークを整備することにより、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる、教育ICT環境を実現することを目的とする、文部科学省の取り組みです。また、業務の効率化により、多忙な教職員の、働き方改革に寄与する狙いがあります。



玖珠町では、このGIGAスクール構想の整備にいち早く取り組み、令和2年10月に、1人1台のコンピューター（Chromebook™）の配布を完了し、小中学校ごとに特色を活かした活用を進めています。今後も、授業での活用はもちろん、ドリルソフトを活用した家庭学習や、臨時休校時のオンライン授業など、家庭と学校と地域を繋ぐツールとして、活用を進めていきます。活用の様子などは、各学校のホームページで見ることができますので、ぜひ、ご覧ください。

GIGAスクール推進班を設置しました

10月1日から、教育政策課に「GIGAスクール推進班」を設置しました。これまで以上に、ICTを活用した教育活動を積極的に実践し、次世代を担う子どもたちに必要な資質・能力を高めることや、教職員の働き方改革を進めていきます。



Google for Education™パートナー自治体プログラムへの参画について



Google for Education
パートナー自治体

ICTを活用した新時代の教育を推進するため、玖珠町教育委員会は、Google の Google for Education パートナー自治体プログラムに参画することとなりました。今後、Google for Education チームからの支援を受けながら、教職員への研修などを行い、ICTを活用した教育活動を積極的に実践していきます。玖珠町の教育が、他自治体の学校の手本となるような、成果を上げていくことを目指します。

オンライン授業・持ち帰り学習を進めています

玖珠町の小中学生は、コンピューターを家庭に持ち帰って活用しています。全国的に、1人1台コンピューターの活用はまだ進んでいませんが、玖珠町は、家庭の協力もあって持ち帰りを実施しており、コロナ禍のピンチをチャンスにしようと取り組みを進めています。

オンライン授業をしている町内の小学生▶



Chromebook 及び Google for Education は Google LLC の商標です。

問 玖珠町教育委員会 教育政策課 GIGAスクール推進班 ☎ (72) 1164